

連載

12 在宅医療奮闘記

平成7年より
在宅を開始した

私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長

橋本 満義 (62歳・内科)

「まるで神様に会ったようです・・・」
と言われました。



平成14年ころのある日。

近所の新聞配達員の方の相談を受けたと知人のヘルパーさんから電話がありました。隣人の老夫婦が寝たきり状態で、どうやら食事も取れていない様子。心配なので往診をしてもらえないかとのこと。

案内されるままに訪問してみたところ、奥様は寝たきりで、この4～5日間水分しか口にしていないようでした。ご主人はというと飲酒しかしていなく、また認知症の傾向があり、横になっている状態。このまま放置しておけば生命の危険にも及ぶと思われました。

「病状的にも心配なので、このまま入院しますか」と尋ねたところ、奥様が「お願いします。まるで神様に会ったようです・・・助かりました」と手を合わされたのです。

その後、お二人は当院に入院されましたが、検査したところ奥様は大腸がんと診断され高度機能病院へ転院し手術することとなりました。ご主人は脳出血症になり脳外科病院へと緊急搬送されました。

これは私にとって“医療の原点”に触れたという気持ちになり、一生忘れられない体験となったのです。

「お医者さんが来てくれる」

質の高い在宅医療・看護・介護
を『千舟町クリニック』は目指しています。



機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 Tel:089-933-3788

<http://www.touzaikai.jp/>